

令和 7 年度

佐世保市決算の概要



令和 8 年 9 月

財務部財政課

目 次

1	一般会計決算状況	2
2	決算の概況	2
3	決算の概要	4
	(1) 歳 入	4
	(2) 歳 出	5
4	財政事情（指標）	6
	(1) 市債残高・基金残高宅事業	6
	(2) 経常収支比率等	7
	(3) 健全化判断比率等	8
	(第1表) 会計別決算額	9
	(第2表) 一般会計歳入決算額	10
	(第3表) 一般会計目的別歳出決算額	11
	(第4表) 一般会計性質別歳出決算額	12
	(第5表) 会計別市債現在高	13
	一般会計市債現在高（借入先別内訳）	14
	(第6表) 基金現在高	15

1 一般会計決算状況

(単位:千円)

項 目	令和7年度	対予算	令和6年度	対予算	対前年度増減
予算現額	144,475,010		137,824,224		6,650,786
歳入決算額	136,485,720	94.5%	130,949,847	95.0%	5,535,873
歳出決算額	132,667,745	91.8%	127,473,906	92.5%	5,193,839
形式収支	3,817,975		3,475,941		342,034
翌年度へ繰り越すべき財源	970,602		737,020		233,582
実質収支	2,847,373		2,738,921		108,452
単年度収支	108,452		△ 324,996		433,448
基金積立・取崩額	△205,126		419,118		△624,244
繰上償還金	0		0		0
実質単年度収支	△96,674		94,122		△190,796
翌年度繰越未収入特定財源	4,399,373		4,073,820		325,553
翌年度繰越歳出予算額	5,369,975		4,810,840		559,135
【繰越を含む実質の予算比】					
歳入決算額＋翌年度繰越未収入特定財源	140,885,093	97.5%	135,023,667	98.0%	5,861,426
歳出決算額＋翌年度繰越歳出予算額	138,037,720	95.5%	132,284,746	96.0%	5,752,974

2 決算の概況

歳入決算額 1, 3 6 4 億 8, 5 7 2 万円に対し、歳出決算額 1, 3 2 6 億 6, 7 7 5 万円で、歳入歳出差し引き 3 8 億 1, 7 9 7 万円となっており、令和 8 年度への繰越事業に係る繰り越すべき財源 9 億 7, 0 6 0 万円を差し引いた実質収支額は、2 8 億 4, 7 3 7 万円となりました。

令和 7 年度におきましては、第 7 次総合計画後期基本計画の 2 年目として、「オール S A S E B O で未来をつくる、次の一步を拓く予算」を掲げ、過去最大規模となる当初予算でスタートした年度となりました。なお、現在も継続している物価高騰等に伴う市民生活や地域経済への影響への対応として、国の予備費や補正予算を活用したプレミアム付商品券の発行支援や、させぼ生活応援券の発行及び物価高対応子育て応援手当の支給など、機動的な経済対策を実施いたしました。

さらに、令和 7 年 6 月、7 月の大雨等といった災害にも対応するなど、これらの当初予算編成時には予測できなかった行政需要に対しては、議会のご理解をいただきながら、市長専決を含めた 1 0 回の補正予算で対応したほか、予備費充用により、衆議院解散に伴う選挙経費等の対応を行いました。

また、市政の最重要課題である「人口減少対策」として、シティブランディ

ング・プロジェクトを本格的に展開し、具体的な成果につなげる取り組みを推進いたしました。こうした重要な政策を推進したことに加え、近年の賃金、物価や金利の上昇など経済環境の変化を反映した結果、歳入は前年度比 55 億 3, 587 万円の増、歳出も 51 億 9, 384 万円の増となりました。

実質収支では 28 億 4, 737 万円の黒字であり、昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 1 億 845 万円の黒字となっております。

これに財政調整基金への積み立て、取り崩しを相殺した実質単年度収支は 9, 668 万円のマイナスとなり 2 年ぶりの赤字となりましたが、この取り崩しには、目標水準を超えて保有する財政調整基金を活用したDX戦略リーディング事業への繰入れなど政策的な要素が含まれており、財政運営の持続可能性は一定確保できたものと考えているところでございます。

なお、特殊要素を除く財源調整のための 2 つの基金の実質的な残高については、目標としていた標準財政規模の 10% 程度を上回ったこと、市債残高については、前年度と比較して 31 億 9, 463 万円減少させることができたこと、さらに健全化判断比率はいずれも早期健全化基準を下回っていることなどから、総じて堅調な財政運営ができたものと考えております。

しかしながら、本市財政は、自主財源に乏しく年度ごとの国の予算や地方財政対策に負うところが大きいことから、安定的とはいい難く、また、財政の硬直化を表す経常収支比率は 96.0% と年々増加傾向にあります。

今後、「選ばれるまち SASEBO」の実現に向けた新たな施策展開や社会経済状況の変化により、行政が担うべき新たな政策課題にも適切に対応していく必要があることから、引き続き歳入・歳出両面からの収支改善策の断行が必須となっております。

3 決算の概要

(1) 歳入

◇ 税収は 5.7%、16.8 億円の増、実質的な交付税は 1.9%、5.3 億円の増

- 市税の徴収率は前年度の 97.4% とほぼ同水準の 97.6% (+0.2 ポイント) となりました。市税総額は 308.7 億円となり、前年度比 5.7%、16.8 億円の増となっています。これは、定額減税の終了や賃金の上昇を反映して個人市民税が増加したことに加え、法人市民税についても現年課税分の徴収率が 99.8% (+0.1 ポイント) と前年度から改善したことなどによるものです。なお、市税全体の滞納繰越分の徴収率は 23.3% となり、前年度から 2.3 ポイント上昇しており、収入未済額の縮減に向けた取り組みの効果が表れています。(参考: 当初予算では市税総額 304.0 億円、前年度比 3.8% 増を見込んでいたところ、決算では 308.7 億円となり、当初予算を上回る決算額を確保しました。)
- 地方交付税と臨時財政対策債の合算額で捉える実質的な交付税は、前年度比 1.9%、5.3 億円増の 283.5 億円となりました。これは、普通交付税が国の総合経済対策に伴い再算定で措置された臨時経済対策費 (+5.9 億円) や包括算定経費 (+3.0 億円) の増などにより前年度比 4.9 億円増の 261.4 億円となったことに加え、特別交付税も前年度から増となったことによるものです。なお、令和 7 年度から臨時財政対策債の発行可能額がゼロとなり (令和 6 年度決算発行額 1.9 億円)、この皆減を交付税の増が上回った形です。また、令和 6 年度に措置されていた定額減税減収補填特例交付金 (地方特例交付金) は、定額減税の終了に伴い 9.7 億円から 0.4 億円 (△99.6%) と大幅な減となっています。
- その他の歳入では、国庫支出金が前年度比 2.5%、7.2 億円増の 294.0 億円、県支出金が前年度比 9.2%、9.4 億円増の 111.1 億円となっています。市債は、投資的経費の増に伴う発行額の増などにより前年度比 30.7%、14.2 億円増の 60.4 億円となりました。

◇ 実質的な一般財源総額の構成比は 49.7% で 0.7 ポイント減

- 一般財源総額は、市税・地方交付税の増が地方特例交付金の減を上回ったことなどにより、前年度比 3.0%、19.7 億円増の 677.7 億円となりました。ただし、市債の大幅増など歳入合計自体がそれ以上に伸びたため、一般財源の構成比は 0.6 ポイント減の 49.7% となっています。これに臨時財政対策債を加えた実質的な一般財源の構成比も、臨時財政対策債が皆減となったため一般財源と同値の 49.7% (△0.7 ポイント) となっています。
- 自主財源比率は、市税や財産収入の増が寄附金・繰入金・繰越金の減を相殺したことなどにより、前年度とほぼ同水準の 38.2% (+0.0 ポイント) となっています。

- 地方債依存度は、投資的経費の財源として市債発行額が増加したことなどにより、3.5%から4.4%へと0.9ポイント増加しました。

(2) 歳出について

◇ 性質別の構成比では、義務的経費で2.2ポイント減、投資的経費で1.2ポイント増、その他の経費で1.0ポイント増

- 義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、前年度比0.2%、1.2億円増の710.2億円（構成比53.5%、△2.2ポイント）となりました。給与改定の影響などにより人件費が前年度比4.1%、8.8億円増の220.9億円となった一方、扶助費は児童手当の制度拡充による前年度の押し上げ分の反動などにより前年度比1.4%、5.4億円減の392.6億円、公債費も合併特例債の償還終了などにより前年度比2.2%、2.2億円減の96.7億円となり、人件費の増が扶助費・公債費の減を上回りました。
- 投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）は、前年度比15.8%、20.3億円増の148.3億円（構成比11.2%、+1.2ポイント）となりました。前畑崎辺道路整備事業費や俵ヶ浦地区港湾施設整備事業費の増などにより普通建設事業費が前年度比17.0%、20.4億円増の140.3億円となりました。
- その他の経費は、前年度比7.0%、30.5億円増の468.2億円（構成比35.3%、+1.0ポイント）となりました。賃金・物価高騰の影響などにより物件費が前年度比14.7%、25.8億円増の200.7億円となったほか、補助費等が前年度比4.3%、4.2億円増の101.6億円、貸付金が前年度比17.8%、3.9億円増の25.8億円となる一方、積立金は前年度比9.7%、5.2億円減の48.2億円となりました。

◇ 目的別の構成比では、対人サービス部門で1.9ポイント減、公共事業部門で0.9ポイント増、その他部門で1.0ポイント増

- 対人サービス部門（民生費・衛生費・教育費の計）は、前年度比0.8%、6.2億円増の783.9億円となりましたが、歳出全体がそれ以上に伸びたため構成比は1.9ポイント減の59.1%となりました。内訳は、民生費が前年度比0.4%、2.4億円増の539.6億円、衛生費が前年度比0.9%、1.1億円増の120.9億円、教育費が前年度比2.3%、2.8億円増の123.3億円となりました。
- 公共事業部門（農林水産業費・土木費・港湾費の計）は、前年度比13.5%、17.2億円増の144.9億円となり、構成比は0.9ポイント増の10.9%となりました。俵ヶ浦地区港湾施設整備事業の増などにより港湾費が前年度比23.8%、5.8億円増の30.3億円、前畑崎辺道路整備事業の増などにより土木費が前年度比17.7%、13.9億円増の92.6億円となった一方、農林水産業費は水産センター機能強化事業の縮小などにより前年度比10.4%、2.5億円減の

22.0億円となりました。

- その他部門（総務費、商工費、消防費、災害復旧費、公債費等）は、前年度比7.7%、28.5億円増の397.9億円となり、構成比は1.0ポイント増の30.0%となりました。商工費が地域通貨発行事業の増などにより前年度比28.0%、14.9億円増の68.0億円、消防費が消防用資機材の整備の増などにより前年度比21.8%、9.8億円増の54.7億円となりました。

4 財政事情（指標）

(1) 市債残高・基金残高

（単位：千円）

項 目	令和7年度	令和6年度	対前年度増減
① 市債残高	83,499,578	86,694,205	△ 3,194,627
② 財源調整2基金残高	9,777,343	10,008,623	△231,280
③ 実質的な2基金残高	6,965,109	7,143,814	△ 178,705
④ 3基金残高	13,941,844	13,848,284	93,560

- ② 財政調整基金、減債基金
- ③ 財源調整2基金のうち、特殊要素を除いたもの
- ④ 財源調整2基金に施設整備基金を加えたもの

将来を見据えた借入の調整も含め市債残高の抑制に努めた結果、市債残高は減となりました。一方、財源調整2基金の残高は、DX戦略などを推進しながら、目標である財源調整2基金の実質的な残高の標準財政規模（620.6億円）の10%（62.1億円）を超える水準を維持し、不測の事態に備える体制は確保できました。

◇ PB黒字化は達成

- 財政の健全性を維持するための戦略方針のひとつである「実質的なプライマリーバランスの黒字化」の目標は、達成することができました。
元金償還額92.3億円－市債発行額60.4億円＝31.9億円
- 積立金現在高（財源調整2基金）は、前年度比2.3億円減の97.8億円となりました。市民一人当たりでは約4.3万円（令和8年1月1日現在の住民基本台帳人口229,941人で算出）となりました。
- 地方債現在高は835.0億円で、前年度比31.9億円減となりました。市民一人当たりでは約36.3万円の借金となりました。

(2) 経常収支比率等について

項 目	令和7年度	令和6年度	対前年度増減
①一般財源比率	49.7%	50.4%	△0.7
②自主財源比率	38.2%	38.2%	0
③経常収支比率	96.0%	95.8%	0.2

① 臨時財政対策債を含む実質的な一般財源

地方財政対策により一定の一般財源総額が確保されましたが、依存度が高い構造に変わりはありません。なお、経常収支比率は、96.0%となり財政構造の弾力性は前年度と比較してさらに低くなって(悪化して)おります。

◇ 経常収支比率は96.0%で0.2ポイント後退

- 普通交付税や市税などが増となったことにより、経常一般財源は前年度比2.5%、15.6億円増の648.9億円となりました。一方で、経常経費に充当する一般財源も前年度比2.7%、16.5億円増の622.9億円となり、経常一般財源の伸び(+2.5%)を経常経費充当一般財源の伸び(+2.7%)がわずかに上回ったことから、令和6年度から0.2ポイント後退する96.0%となりました。
- 経常収支比率を構成する性質別の内訳をみると、公債費についてはPBの黒字化を目標にしていることから、14.2%、0.7ポイント減少したものの、人件費については給与改定の影響から0.2ポイント増の27.4%、扶助費も0.3ポイント増の17.0%となっているほか、その他の経費についても賃金・物価高騰の影響により0.4ポイント増の37.4%となっています。
- 人口減少社会が進行する中で、社会保障費等の経常的な経費が増加し、またそれに見合うだけの経常一般財源も増えない中、経常収支比率は悪化する傾向にあります。これは全国的な傾向であり、本市が他都市と比較し、特に高い数値となっているわけではありませんが、今後財政の弾力性を確保するためにも、これまで以上に改革改善を進めつつ、持続可能な財政運営を行っていく必要があります。

(3) 健全化判断比率等について

項 目	令和7年度	令和6年度	早期健全化基準 /財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	11.25/20.00
②連結実質赤字比率	—	—	16.25/30.00
③実質公債費比率	5.6%	5.7%	25.0/35.0
④将来負担比率	—	—	350.0/なし
⑤資金不足比率	—	—	20.0

①実質赤字、②連結実質赤字、④将来負担比率、⑤資金不足比率とも赤字や資金不足を生じておらず、また、③実質公債費比率は5.6%となり、前年度より0.1ポイント改善し、早期健全化基準を下回っていることから、本市の財政状況は健全段階にあると言えます。

◇ 実質公債費比率は5.6%で0.1ポイント改善

- 実質公債費比率は、過去3か年度の単年度比率の平均値で算定されます。令和7年度決算では、算定期間から令和4年度の単年度比率5.6%が外れ、新たに令和7年度の単年度比率5.5%が加わったことにより、3か年平均は前年度から0.1ポイント改善の5.6%となりました。
- 将来を見据えた市債残高の抑制策（PBの黒字化）をとっていること、また、事業の実施にあたっては交付税措置のある起債の活用をはかっていることから、実質公債費比率が改善しています。
- 今後とも、交付税措置のある起債の優先発行を継続しつつ、適切な市債の発行に努めていく必要があります。

◇ 将来負担比率は引き続き「算定なし」を維持

- 将来負担比率は、市債残高の減少（将来負担額に含まれる一般会計等の地方債現在高は△30.2億円）などにより将来負担額が減少し1,420.8億円となったものの、充当可能基金や基準財政需要額算入見込額などの充当可能財源等が1,452.7億円となっており、これが31.9億円上回っているため、引き続き比率は算定されない（「-」表示）状況です。なお、退職手当負担見込額の増（+10.6億円）などにより、充当可能財源等の超過幅は前年度37.9億円から6.0億円縮小しています。

(第1表)

令和7年度会計別決算額

(単位：千円)

区分		歳入 決算額	歳出 決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰り越す 繰上り財源	実質収支額
一般会計		136,485,720	132,667,745	3,817,975	970,602	2,847,373
特別 会計	住宅事業	3,750,880	3,512,325	238,555	104,578	133,977
	国民健康保険事業	24,672,683	24,309,629	363,054	24,655	338,399
	競輪事業	33,074,652	33,010,042	64,610	0	64,610
	卸売市場事業	919,778	919,778	0	0	0
	佐世保市等地域 交通体系整備事業	494	494	0	0	0
	土地取得事業	208,530	208,530	0	0	0
	介護保険事業	25,824,033	25,706,859	117,174	3,359	113,815
	交通船事業	49,810	46,286	3,524	0	3,524
	集落排水事業	24,239	24,239	0	0	0
	後期高齢者医療事業	4,507,542	4,403,236	104,306	6,679	97,627
	工業団地整備事業	16,353	16,353	0	0	0
	港湾整備事業	1,936,534	1,873,502	63,032	8,025	55,007
	臨海土地造成事業	136,950	128,380	8,570	0	8,570
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	92,311	49,355	42,956	0	42,956
	病院資金貸付事業	1,464,120	1,464,120	0	0	0
小計		96,678,909	95,673,128	1,005,781	147,296	858,485
合計		233,164,629	228,340,873	4,823,756	1,117,898	3,705,858

表中における計数は、それぞれ表示単位未満の端数調整等を行っているため、計とは一致しない場合があります。(以下の表についても同じ)

(第2表)

一般会計歳入決算額

(単位：千円、%)

区 分		令和7年度		令和6年度		差引増減	対前年度 伸 び 率
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
自主財源	市 税	30,871,572	22.6	29,194,510	22.3	1,677,062	5.7
	分担金及び負担金	2,134,855	1.6	2,080,153	1.6	54,702	2.6
	使用料及び手数料	1,304,400	1.0	1,352,519	1.0	△ 48,119	△ 3.6
	財 産 収 入	1,301,655	0.9	526,661	0.4	774,994	147.2
	寄 附 金	2,038,914	1.5	2,102,166	1.6	△ 63,252	△ 3.0
	繰 入 金	5,247,035	3.8	5,418,471	4.1	△ 171,436	△ 3.2
	繰 越 金	3,475,941	2.5	4,267,572	3.3	△ 791,631	△ 18.5
	諸 収 入	5,829,346	4.3	5,116,004	3.9	713,342	13.9
	小 計	52,203,718	38.2	50,058,057	38.2	2,145,661	4.3
依存財源	地 方 譲 与 税	791,084	0.6	774,924	0.6	16,160	2.1
	利子割交付金	58,167	0.1	14,278	0.0	43,889	307.4
	配当割交付金	155,715	0.1	161,345	0.1	△ 5,630	△ 3.5
	株式等譲渡所得割交付金	289,771	0.2	242,525	0.2	47,246	19.5
	法人事業税交付金	386,085	0.3	401,968	0.3	△ 15,883	△ 4.0
	地方消費税交付金	6,594,052	4.8	6,106,095	4.7	487,957	8.0
	ゴルフ場利用税交付金	36,230	0.0	38,321	0.0	△ 2,091	△ 5.5
	環境性能割交付金	63,526	0.1	64,862	0.0	△ 1,336	△ 2.1
	国有提供施設等所在 市町村助成交付金	820,696	0.6	797,236	0.6	23,460	2.9
	地方特例交付金	178,739	0.1	1,177,631	0.9	△ 998,892	△ 84.8
	地 方 交 付 税	28,345,330	20.8	27,628,740	21.1	716,590	2.6
	交通安全対策特別 交 付 金	22,493	0.0	23,201	0.0	△ 708	△ 3.1
	国 庫 支 出 金	29,397,083	21.6	28,674,345	21.9	722,738	2.5
	県 支 出 金	11,106,131	8.1	10,165,816	7.8	940,315	9.2
	市 債	6,036,900	4.4	4,620,504	3.5	1,416,396	30.7
	うち臨時財政 対 策 債	0	0.0	187,004	0.1	△ 187,004	△ 100.0
	小 計	84,282,002	61.8	80,891,791	61.8	3,390,211	4.2
合 計		136,485,720	100.0	130,949,847	100.0	5,535,873	4.2
うち一般財源		67,770,271	49.7	65,805,199	50.3	1,965,072	3.0

※表中の網掛け部分は、一般財源。

うち臨時財政対策債を 含む実質的な一般財源	67,770,271	49.7	65,992,203	50.4	1,778,068	2.7
うち臨時財政対策債を 含む実質的な交付税額	28,345,330	20.8	27,815,744	21.2	529,586	1.9

(第3表)

一般会計目的別歳出決算額

(単位：千円、%)

款 別	令和7年度		令和6年度		差引増減 決算額	対前年度 伸び率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	583,620	0.4	574,341	0.4	9,279	1.6
総 務 費	16,385,411	12.3	15,780,563	12.4	604,848	3.8
民 生 費	53,964,452	40.7	53,728,586	42.1	235,866	0.4
衛 生 費	12,092,782	9.1	11,984,332	9.4	108,450	0.9
労 働 費	82,836	0.1	78,113	0.1	4,723	6.0
農 林 水 産 業 費	2,195,525	1.7	2,449,507	1.9	△ 253,982	△ 10.4
商 工 費	6,796,231	5.1	5,309,518	4.2	1,486,713	28.0
土 木 費	9,262,540	7.0	7,872,828	6.2	1,389,712	17.7
港 湾 費	3,030,524	2.3	2,447,191	1.9	583,333	23.8
消 防 費	5,472,326	4.1	4,491,487	3.5	980,839	21.8
教 育 費	12,329,277	9.3	12,051,401	9.5	277,876	2.3
災 害 復 旧 費	802,531	0.6	816,628	0.6	△ 14,097	△ 1.7
公 債 費	9,669,690	7.3	9,889,411	7.8	△ 219,721	△ 2.2
合 計	132,667,745	100.0	127,473,906	100.0	5,193,839	4.1

(第4表)

一般会計性質別歳出決算額

(単位：千円、%)

区 分		令和7年度		令和6年度		差引増減 決 算 額	対前年度 伸 び 率
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
義務的経費	人 件 費	22,088,661	16.6	21,209,982	16.7	878,679	4.1
	扶 助 費	39,257,461	29.6	39,799,736	31.2	△ 542,275	△ 1.4
	公 債 費	9,669,690	7.3	9,889,411	7.8	△ 219,721	△ 2.2
	小 計	71,015,812	53.5	70,899,129	55.7	116,683	0.2
投資的経費	普通建設事業費	14,030,937	10.6	11,988,982	9.4	2,041,955	17.0
	災害復旧事業費	802,531	0.6	816,628	0.6	△ 14,097	△ 1.7
	失業対策事業費	—	—	—	—	—	—
	小 計	14,833,468	11.2	12,805,610	10.0	2,027,858	15.8
その他の経費	物 件 費	20,067,566	15.1	17,488,551	13.7	2,579,015	14.7
	維 持 補 修 費	930,791	0.7	729,379	0.6	201,412	27.6
	補 助 費 等	10,163,883	7.7	9,746,259	7.6	417,624	4.3
	繰 出 金	7,723,230	5.8	7,764,927	6.1	△ 41,697	△ 0.5
	積 立 金	4,822,574	3.6	5,343,234	4.2	△ 520,660	△ 9.7
	投資及び出資金	530,226	0.4	506,018	0.4	24,208	4.8
	貸 付 金	2,580,195	2.0	2,190,799	1.7	389,396	17.8
	小 計	46,818,465	35.3	43,769,167	34.3	3,049,298	7.0
合 計		132,667,745	100.0	127,473,906	100.0	5,193,839	4.1

(第5表)

令和7年度会計別市債現在高

(単位：千円、%)

会 計	令和6年度末 現在額	令和7年度中 起債額	令和7年度中 償還額	令和7年度末 現在額
一 般 会 計	86,694,205	6,036,900	9,231,527	83,499,578
特 別 会 計	18,506,646	2,826,200	1,685,910	19,646,936
住 宅	8,773,889	967,100	676,571	9,064,418
卸 売 市 場	579,383	0	142,085	437,298
集 落 排 水	106,882	0	16,271	90,611
工 業 団 地	1,572,559	0	11,859	1,560,700
港 湾 整 備	573,758	1,205,100	63,891	1,714,967
臨 海 造 成	2,280	0	1,140	1,140
母 子 父 子 寡 婦	132,696	0	22,429	110,267
病 院	6,765,199	654,000	751,664	6,667,535
合 計	105,200,851	8,863,100	10,917,437	103,146,514

会 計	差 引 増 減	対 前 年 度 伸 び 率	市民一人当たり の 額 (円) ※
一 般 会 計	△ 3,194,627	△ 3.7	363,135
特 別 会 計	1,140,290	6.2	85,443
住 宅	290,529	3.3	39,421
卸 売 市 場	△ 142,085	△ 24.5	1,902
集 落 排 水	△ 16,271	△ 15.2	394
工 業 団 地	△ 11,859	△ 0.8	6,787
港 湾 整 備	1,141,209	198.9	7,458
臨 海 造 成	△ 1,140	△ 50.0	5
母 子 父 子 寡 婦	△ 22,429	△ 16.9	480
病 院	△ 97,664	△ 1.4	28,997
合 計	△ 2,054,337	△ 2.0	448,578

※令和8年1月1日現在の住民基本台帳人口 (229,941人)

令和7年度末一般会計市債現在高（借入先別内訳）

（単位：千円、％）

区 分		未 償 還 元 金	構 成 比	年 利 率	前 年 度 比 構 成 比
政 府 資 金	財 務 省	51,694,097	61.9	0.003～3.000	63.3
	日 本 郵 政 グ ル ー プ	94,568	0.1		0.2
	国 土 交 通 省	0	－		－
	小 計	51,788,665	62.0		63.5
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構		14,185,122	17.0	0.005～4.700	14.5
全 国 市 有 物 件 災 害 共 済 会		214,464	0.3	0.003～1.710	0.3
市 中 銀 行 等	十 八 親 和 銀 行	13,858,306	16.6	0.010～3.065	17.2
	長 崎 銀 行	701,963	0.9		0.9
	西 日 本 シ テ ィ 銀 行	113,774	0.1		0.1
	佐 賀 銀 行	1,419,700	1.7		1.8
	ながさき西海農業協同組合	857,546	1.0		1.2
	九 州 ひ げ ん 信 用 金 庫	102,358	0.1		0.1
	市 町 村 振 興 協 会	257,680	0.3		0.4
	小 計	17,311,327	20.7		21.7
	市 場 公 募 債		0		－
合 計		83,499,578	100.0		100.0

(第6表)

令和7年度末基金現在高

(単位:千円、%)

基金名	令和6年度末 現在高	令和7年度中増減額			令和7年度末 現在高	差 増	引 減	対前年度 伸び率
		積立	繰入	その他				
減債基金	3,208,342	1,015,846	1,042,000	-	3,182,188	△ 26,154		△ 0.8
財政調整基金	6,800,281	1,685,214	1,890,340	-	6,595,155	△ 205,126		△ 3.0
災害補てん基金	789,943	12,206	72,035	-	730,114	△ 59,829		△ 7.6
奨学基金	544,244	33,697	26,184	-	551,757	7,513		1.4
交通安全基金	1,818	6	990	-	834	△ 984		△ 54.1
福祉基金	648,088	5,970	22,204	-	631,854	△ 16,234		△ 2.5
教育文化振興基金	164,861	4,610	10,721	-	158,750	△ 6,111		△ 3.7
ふるさと創生基金	33,615	215	21,493	-	12,337	△ 21,278		△ 63.3
交通遺児救済基金	56,487	158	214	-	56,431	△ 56		△ 0.1
合併市町村振興基金	1,071,477	2,992	276,703	-	797,766	△ 273,711		△ 25.5
市民公益活動団体 自立化支援基金	30,841	86	0	-	30,927	86		0.3
子ども未来基金	244,211	1,153	4,033	-	241,331	△ 2,880		△ 1.2
過疎地域持続的発展 特別事業基金	329,916	15,358	5,880	-	339,394	9,478		2.9
施設整備基金	3,839,661	1,029,868	705,028	-	4,164,501	324,840		8.5
暴力追放推進基金	20,213	57	0	-	20,270	57		0.3
ふるさと佐世保元気基金	3,535,772	987,667	911,361	-	3,612,078	76,306		2.2
学校施設整備基金	50,418	164	0	-	50,582	164		0.3
森林環境譲与税基金	82,208	10,183	0	-	92,391	10,183		12.4
企業版ふるさと納税基金	0	17,124	0	-	17,124	17,124	皆増	
小計 (※)	21,452,396	4,822,574	4,989,186	0	21,285,784	△ 166,612		△ 0.8
住宅基金	1,466,568	4,197	312,025	-	1,158,740	△ 307,828		△ 21.0
佐世保市等地域交通体系 整備基金	173,225	484	10	-	173,699	474		0.3
国民健康保険財政 調整基金	1,074,484	263,272	440,000	-	897,756	△ 176,728		△ 16.4
土地開発基金	1,083,513	2,465	0	-	1,085,978	2,465		0.2
競輪事業基金	705,457	1,969	0	-	707,426	1,969		0.3
地方卸売市場移転 整備基金	80,401	207	23,000	-	57,608	△ 22,793		△ 28.3
介護保険給付費準備基金	1,916,838	275,271	165,257	-	2,026,852	110,014		5.7
競輪施設整備基金	2,354,080	1,277,598	720,639	-	2,911,039	556,959		23.7
合 計	30,306,962	6,648,037	6,650,117	0	30,304,882	△ 2,080		△ 0.0

※条例に定める目的がおおむね一般会計の事業と一致するものの計です。

「佐世保クリテリウム」

●いよいよ来週開催！

本年10月9日（金）から12日（月・祝）までの4日間にわたり開催される国際サイクルロードレース「がんばろう熊本 マイナビ ツール・ド・九州2026」の大会初日を飾る「佐世保クリテリウム」について、詳細をお知らせいたします。

●佐世保クリテリウム概要

日 時：10月9日（金）10時～15時

※レースは13時～14時

会 場：「させぼ五番街」周辺

コース：約1.5kmのコースを30周
直線を増やしてスピード感UP！

チーム：国内外18チーム
1チーム6選手 計108人

SASEBO CRITERIUM

マイナビツール・ド・九州2026

佐世保クリテリウム

2026.10.9 金 13:00 レースSTART

あの熱狂が、再び!!

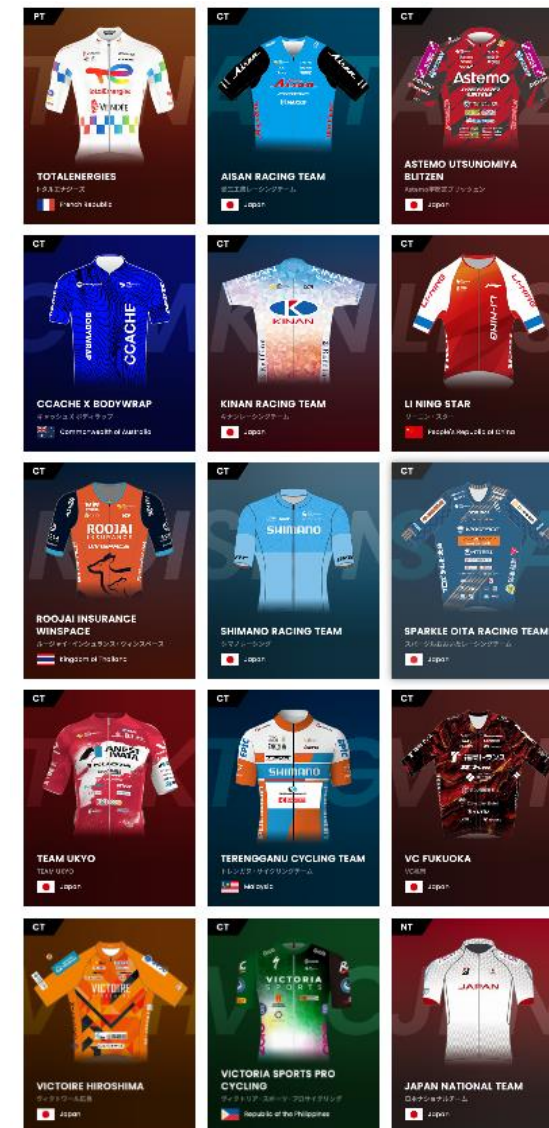
START&FINISH

佐世保駅や商業施設「させぼ五番街」の周辺約1.5kmのコースを30周して順位を競います。

出場チーム

●世界ランキング1位のチームも参戦！

世界ランキング首位で「史上最強のロードレーサー」とも称されるタデイ・ポガチャル選手を擁する「UAEチームエミレーツ・XRG」を含む国内外18チームが出場。



豪華イベント注目の取り組み

●豪華なゲストが来場！

大人気自転車漫画「弱虫ペダル」の作者
渡辺航先生が今年も来場

DAY.1 10.9 金 10:00-15:00 会場 新みなとイベント広場

サイクルロードレースの魅力を熱弁するトークショー！

当日はイベント会場にてチャリティーサコッシュ販売&サイン会も開催！

タレント 稲村 亜美 『弱虫ペダル』作者 渡辺 航

●ツール・ド・九州版キャラバン隊！

本場ツール・ド・フランスさながらに
観客にグッズをお届け。

DAY.2 10.10 土 9:30-17:00 会場 させぼ五番街大やね階段前ひろば

豪華お笑い芸人による爆笑ステージ！

長崎亭キヨちゃんぽんも登場！

ハリウッドザコシショウ コウメ太夫 サバナ 八木 真澄

スタンプラリー
スポットを巡ろう！
先着500名様にオリジナルトートバッグをプレゼント！

後援・協賛ステージ
パブリックビューイング
【解説】元プロロードレーサー 井上 文成氏

スペシャルライブ！
【アーティスト】佐世保観光名誉大使 Sandy Trip

10月9日(金)
ステージイベントタイムテーブル

- 10:00 イベントスタート
- 10:05 BMXショー
- 10:15 稲村亜美×渡辺航先生によるトークショー
- 11:00 チームプレゼンテーション(出場選手紹介)
- 11:00 交通規制
- 12:06 コース試走
- 12:08 ジャージ、トロフィー、メダル紹介
- 12:13 応援チアリーダーズ演技
- 12:23 応援隊長「くまモン」登壇
- 12:38 車列パレード&キャラバン
- 12:48 スタートセレモニー(開会挨拶、テープカット)
- ※ 海上自衛隊佐世保音楽隊によるファンファーレ演奏、レース開始後の演奏を予定しています。
- 13:00 レース
- 14:30 表彰式

会場:させば五番街 新みなとイベント広場

10月10日(土)
ステージイベントタイムテーブル

- 9:30 イベントスタート
- 9:45 パブリックビューイング スタートを盛上げ
- 10:15 CRANK BMXパフォーマンス
- 10:45 お笑いショー コウメ太夫
- 11:05 お笑いショー ハリウッドザコシショウ
- 11:30 パブリックビューイング 中間地点を盛上げ
- 12:00 お笑いショー 長崎亭キヨちゃんぽん
- 12:40 お笑いショー サバンナ八木
- 13:15 パブリックビューイング ゴールを盛上げ
- 13:50 お笑いショー コウメ太夫
- 14:10 お笑いショー ハリウッドザコシショウ
- 14:45 ダンスパフォーマンス RemiX Dance Studio
- 15:20 お笑いショー サバンナ八木
- 15:55 ダンスパフォーマンス スターライトスクール
- 16:35 スペシャルライブ SandyTrip

会場:させば五番街大やね階段前ひろば

交通規制予定時間

10/9 (金) 11:00▶15:00
競技予定時間 13:00~14:10

国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2026」開催に伴い10/9(金)交通規制(車両通行止め)を実施します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

- 交通規制中、車両・歩行者はコース上の通行及び横断はできません。
- 交通規制時間は、競技の進行状況等により前後する場合があります。
- 交通規制は競技終了後、安全を確認の上、解除します。
- 規制区間の迂回は、推奨迂回路をご利用願います。
- バスの運休や路線及びダイヤの変更、遅れなどが生じます。
- 郵便物や宅配便などが遅れて届くことも予想されます。

凡例

→ コース方向	⇄ 推奨迂回路	シャトルバス乗降所 佐世保駅 ↓ 新みなとターミナル ↓ 鯨瀬ターミナル 11時~15時 (30分間隔)
— 規制区間	○ 通行可	
→ X 通行不可	▨ 仮設歩道橋	
→ コース内への来場導線		

交通規制中、させほ五番街への行き来は、仮設歩道橋をご利用願います。

- 交通規制中、MAP上に表示された新みなと・佐世保駅ビル・させほ五番街駐車場(P2・P3)からの車両の出入庫はできません。
- 大会当日は、長時間にわたる大規模な交通規制により、交通渋滞が予想されます。お出かけの際は、マイカーの使用を控え、公共交通機関をご利用ください。



全体図

[交通規制に関するお問合せ先]

TEL 092-712-4537

▶8月・9月(平日)/10:00-17:00
▶10月1日~8日/10:00-18:00
▶10月9日・10日/ 9:00-18:00

大会の最新情報
交通規制情報
観戦情報などは
コチラ▶



大会HP

公共交通機関で
長崎県内を
観光周遊するなら
コチラ▶



九州MaaS HP



NO DRONE

マイナビ ツール・ド・九州2026では、大会関係で使用するものを除き、ドローン及びそれに類する無人航空機の持ち込み・操縦・飛行などを禁止します。

不審物を見かけたらすぐに110番 テロを許さない社会の実現!

佐世保市プレスリリース

(全2枚)

令和8年 9月30日

報道機関各位

佐世保市保健福祉部健康づくり課

「敬老パス制度の検証に向けた市民意見の募集」にかかる

市長定例記者会見について

佐世保市では、敬老特別乗車証、いわゆる「敬老パス」について、制度に関する市民の皆様からのご意見をいただき、今後の検証に活用していきたいと考えており、今般、別紙のとおり取組を行うこととなりました。

また、敬老パスを取り巻く現状についても周知を図るため、広報させば10月号にて特集記事を掲載することとしており、これらの取組について、9月30日の市長定例記者会見において、紹介させていただくこととしています。

敬老パス制度の検証につきましては、今後寄せられる意見等についても適宜、本市ホームページにて公開していくこととしています。

お問合せ先

佐世保市保健福祉部健康づくり課

担当：中島

TEL：0956-25-8850

Mail：kenkou@city.sasebo.lg.jp

市民の皆様の意見を聴く取組

①市民参加型オンラインプラットフォーム「させぼイス」によるご意見募集

期 間：令和8年9月24日（木）から11月30日（月）まで

参加資格：どなたでもご意見投稿可

参加方法：オンライン回答（下記2次元コードから）

※「させぼイス」で検索すると、専用のサイトにアクセスできます。

オンラインでの回答が難しい方は、市役所1階、支所、コミュニティセンターに紙の回答用紙を用意しています。



②市内5会場での、市民懇談会の実施

開催日時・場所

10月31日（土）	14時から	常盤町6-1 まちなかコミュニティセンター
11月12日（木）	19時から	早岐1丁目6-38 早岐地区コミュニティセンター
11月18日（水）	19時から	川下町209-5 相浦地区コミュニティセンター
11月21日（土）	14時から	佐世保市八幡町1-10 佐世保市役所13階大会議室
11月25日（水）	19時から	吉井町立石473 吉井地区コミュニティセンター

参加資格：どなたでも参加可

※当日は、制度に関する説明をお聞きいただいた後、ご参加の市民の皆様から担当部局職員がご意見を伺います。

令和9年1月4日（月）から 窓口の受付時間が変わります

（変更後） 窓口の受付時間

9：00～16：30

※電話の受付時間に変更はありません。

対象窓口

本庁舎、すこやかプラザ、支所、宇久行政センター及び
水道局、環境センター、コミュニティセンター等の窓口

※保育所、消防署など、受付時間を変更しない窓口もあります。
詳しくはHPをご確認ください。

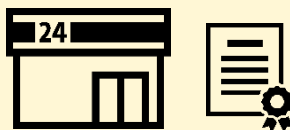
便利なサービスもご活用ください

オンライン申請



自宅や外出先から
いつでも申請・手続きが
できます

コンビニ交付



住民票の写し等の証明書が
コンビニで取得できます

市公式LINE



市政情報発信やチャット
ボット、相談予約等の便
利な機能があります

生まれた時間を、よりよい市民サービスへ

受付時間の変更により生まれる時間を、事務の効率化や丁寧な相談対応の時間に充て、市民サービスの向上と職員の働き方改革を目指します。
市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



問い合わせ先

佐世保市行政マネジメント課
電話：0956-25-9689



詳細は市HPをご覧ください

コンビニ交付サービスを一時停止します

市の業務システム変更等に伴い、下記の期間、各種証明書のコンビニ交付を停止します。

停止期間（予定）

第1回 9月24日（木）終日 — 10月7日（水）終日

令和8年

第2回 10月9日（金）17:15 — 10月11日（日）終日

令和8年

※ 作業の進捗により、停止期間が前後する可能性があります。

停止するサービス

すべてのサービス

住民票の写し／印鑑登録証明書

所得課税証明書／現在戸籍

現在戸籍の附票の写し

本籍地の利用者登録申請

停止期間中の取得方法

本庁・支所等窓口、オンライン、郵送をご利用ください。

サービス再開後の変更

住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書は、レイアウト等が一部変更となります。

0歳児から2歳児の子育て家庭への 生活支援給付金支給

報道機関配布資料

●事業内容

- ・エネルギーや食料品価格などの物価高騰による経済的負担が続く中、国の交付金を活用し、特に紙おむつなど日常的に使用する消耗品等の価格高騰の影響を受けている0歳児から2歳児の子どもを養育している家庭に対し、生活支援給付金を支給

※紙おむつ年間所要額推移

R6⇒R8 11,826円 18.2%上昇

●対象者（見込み）

4,832人（令和8年10月1日現在）

●支給額

10,000円（対象の子ども1人当たり）

●支給方法および支給時期

支給方法	支給時期	備考
プッシュ型	令和8年11月下旬	福祉医療登録情報により、口座情報等を把握できる方
申請型	令和8年12月下旬	・プッシュ型以外の方 ・申請方法はオンライン申請を推奨



佐世保市LINE公式アカウントの リニューアルについて

令和8年10月1日～ リニューアル

公式LINEアカウント リニューアルの目的と概要

- 情報を取得する手段としてLINEの利用が広く定着しており、本市においても、市民が必要な行政情報をより分かりやすく、タイムリーに受け取ることができる情報発信環境の充実が求められています。
- 今回のリニューアルでは、市民ニーズの高い「ごみ収集日通知」の導入をはじめ、「AIチャットボット」による情報検索機能の充実、「多言語対応」及び利用者属性に応じた「情報配信の最適化」を実施することで、市民の利便性向上と、効果的な行政情報の提供を図るものです。

🕒 これまでのLINE

📁 情報配信区分（セグメント配信）が3区分

お知らせ / 募集 / イベント情報

【課題】 選択肢が限られており、不要な情報も届く

🗓️ ごみ収集日の通知なし

自分でカレンダーを確認する必要あり

【課題】 毎回確認する手間、ごみの出し忘れも発生

🗣️ 日本語のみでの情報発信

外国人市民には届きにくい

【課題】 日本語が得意でない方に情報が上手く伝わらない

🗨️ シナリオ型チャットボット

あらかじめ登録されたQ&Aをもとに、特定の質問に回答

【課題】 知りたいQ&Aがない場合があり、探すのに時間がかかる

★ これからのLINE

👁️ 情報配信区分（セグメント配信）の見直し

子育て・教育 / 健康・医療 / イベント など、区分を見直し・細分化



🕒 新機能①

🗓️ ごみ収集日の自動通知

地区別に自動でLINE通知 → 出し忘れゼロへ



🕒 新機能②

🗣️ 自動翻訳による多言語対応

英語 / 韓国語 / 中国語 など多言語（9言語）で情報を配信



🕒 新機能③

🗨️ AIチャットボット

市ホームページの情報をもとに質問に回答

情報配信区分（セグメント配信）の見直し

より一人ひとりの関心・状況に合った情報を届ける

🕒 これまで

⚠️ 関心のない情報も流れてきていた

🔔 お知らせ

📄 募集情報

📅 イベント情報



✔️ これから

✔️ 必要な情報だけ、ノイズなし

- 🔔
- ☐ お得・キャンペーン
 - ☐ 観光・移住
 - ☐ イベント
 - ☐ 講座
 - ☐ 子育て・教育
 - ☐ 健康・医療
 - ☐ 高齢者・福祉
 - ☐ 税・保険・年金
 - ☐ 手続き・窓口
 - ☐ 環境・脱炭素
 - ☐ 文化・芸術
 - ☐ スポーツ
 - ☐ 人権・市民生活
 - ☐ しごと・産業・事業者
 - ☐ まちづくり・住まい
 - ☐ 市政・広報
 - ☐ 防災無線放送

ごみ収集日の自動通知

地区別の自動通知で、出し忘れ防止・問い合わせ軽減を実現する

🕒 これまで

💬 今日は何のごみの日だっけ？

💬 あっ、出し忘れた…

⚠️ 毎回、ごみ収集カレンダーを確認する手間
出し忘れが発生



カレンダー確認



出し忘れ



✔️ これから

✔️ お住まいの地区に合わせて、ごみ収集日を
自動でLINE通知

～「●●町」など地区を選択するだけ～



【ごみ収集のお知らせ】
明日は「資源ごみ」の収集日です。



【ごみ収集のお知らせ】
今日は「燃やせないごみ」の収集日です。



効果①
出し忘れ防止



効果②
お問い合わせ
の軽減

自動翻訳による多言語対応

自動翻訳で外国人市民にも分かりやすい情報発信を実現する

🕒 これまで



STEP 1

日本語の市の情報

防災・生活・行政サービス情報を日本語で配信



✅ これから



STEP 2

多言語配信

外国人市民が
母国語で情報を受信

EN

한국어

中文

...

- ☐ 英語
- ☐ 中国語（簡体）
- ☐ 中国語（繁体）
- ☐ 韓国語
- ☐ インドネシア語
- ☐ ネパール語
- ☐ フィリピン語（タガログ語）
- ☐ ベトナム語
- ☐ ミャンマー語（ビルマ語）

🏆 長崎県内初 🏆

LINEシステムの自動翻訳機能で9言語に対応

AIチャットボット

24時間365日、市ホームページの情報を活用して質問に回答

🕒 これまで

⚠ 目的の情報にたどり着くまで時間がかかる

💬 犬を飼いたいなあ



LINEからチャットボットを立ち上げる。



複数回ボタンをタップしていき、知りたいQ&Aを探す



✔ これから

✔ 知りたい情報がすぐに分かる

💬 犬を飼いたいなあ



LINEからAIチャットボットを立ち上げる。



知りたい内容を入力すれば、市ホームページの情報をもとに回答が表示され、関連ページへ案内

- ✔ 市ホームページの情報をもとに回答
- ✔ 誤情報対策として回答根拠ページを表示
- ✔ 情報が見つからない場合は、原則回答しない
- ✔ 入力情報はAIの学習に利用されない

今までの機能も引き続き利用

現行機能 + 機能強化・新機能 = より便利で、より身近なLINEへ

現行機能（継続）



損傷報告

道路・河川・公園の損傷を、写真や位置情報を添えて報告



カレンダー予約（24時間対応）

カレンダー形式で空き状況を確認でき、LINE上で来庁予約
□ 母子健康手帳交付、検診予約、歯科相談 など



防災情報

防災ポータルや防災行政無線の内容を確認



本庁舎1階窓口の混雑情報

各種手続きの現在の窓口呼出状況をライブ配信



機能強化・新機能

UP

情報配信区分（セグメント配信）の見直し

区分を見直し、より一人ひとりの関心に応じた情報を配信

NEW

ごみ収集日の自動通知

地区別に自動でLINE通知

NEW

自動翻訳による多言語対応

自動翻訳で英語 / 韓国語 / 中国語 など9言語に対応

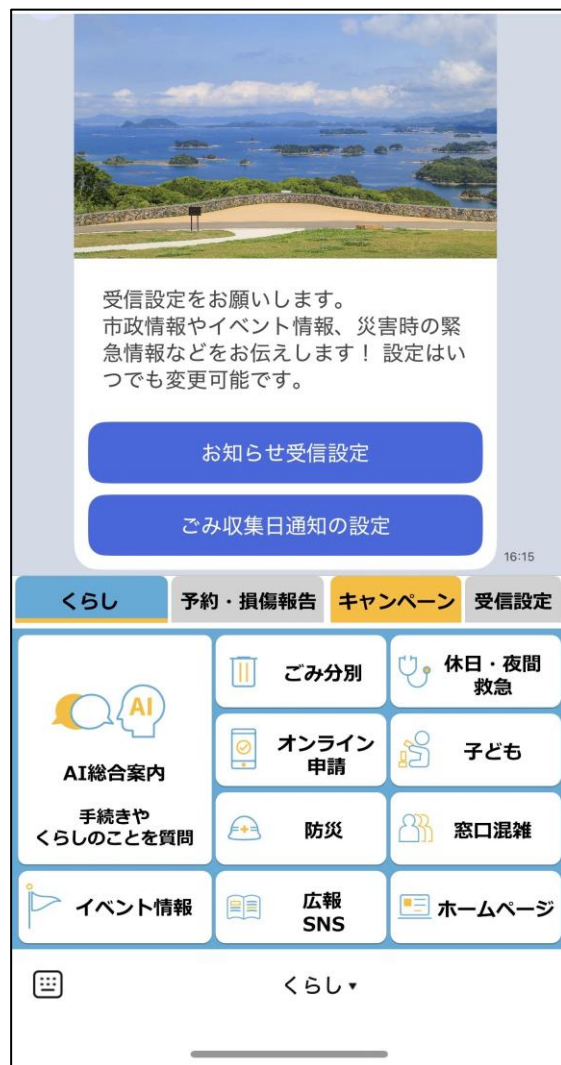
NEW

AIチャットボット

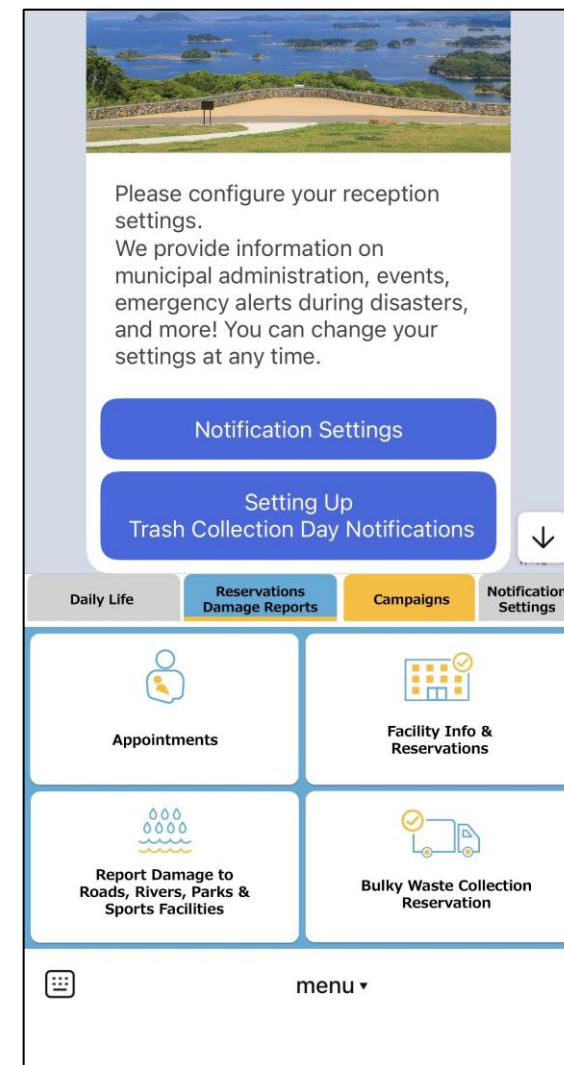
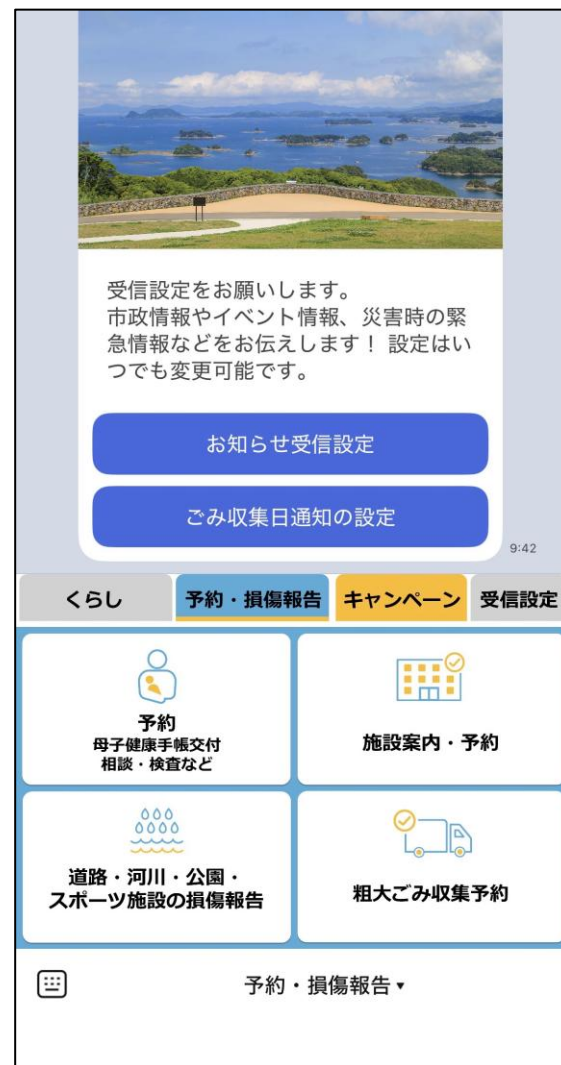
市ホームページの情報を活用し、
市民からの質問に自然な対話形式で回答

参考：リニューアル後のLINEメニュー（イメージ）

くらし



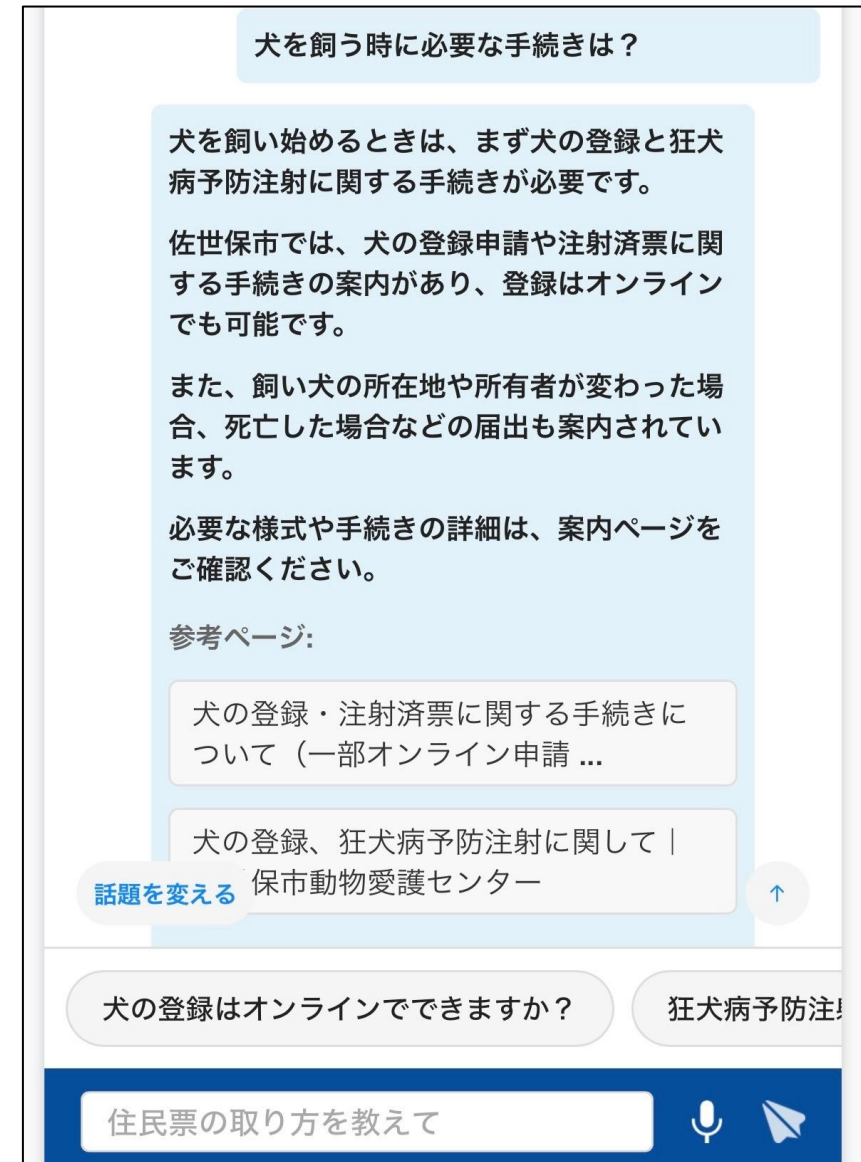
予約・損傷報告



参考：AIチャットボット画面



※AIチャットボットは市ホームページからも利用可能です。



リニューアルに伴うキャンペーン

- させぼeコインポイントプレゼントキャンペーン
- V・ファーレン長崎観戦チケットプレゼントキャンペーン

させぼeコインポイントプレゼントキャンペーン

佐世保市 LINE公式アカウント



応募期間：2026年10月1日(木)～11月30日(月)

ごみ出し、もう忘れない。

朝、あわてない。夜も安心

佐世保市LINE公式アカウントに
「ごみ収集日のプッシュ通知機能」が新登場！

地区別の収集日を自動でお知らせします。



ごみの出し忘れをスッカリ防ぐ

「明日は何のごみだっけ？」を簡単解決
カレンダーを見る手間もなくなります。



LINEでかんたん

今すぐ登録（30秒）

スマホのカメラを左の二次元コードにかざすと、佐世保市LINE公式アカウントをすぐに友だち登録できます。

LINE新機能登録キャンペーン

ごみ収集日通知登録で当てよう！

最大5,000円
が当たる!!



既存の友だちも、新規登録者も対象！

「ごみ収集日通知」を登録して応募すると、

「させぼeコイン」ポイント総額50万円分（最大5,000円相当）が

抽選で810名様に当たるチャンス！

👑 特賞

5,000ポイント

抽選で 10 名様

🏆 A賞

1,000ポイント

抽選で 100 名様

🏆 B賞

500ポイント

抽選で 700 名様

📌 キャンペーン応募は簡単！3つのステップ

1

LINE友だち登録

左の二次元コードから追加！

2

ごみ収集日通知地区登録

LINEメニューから地区設定

3

フォーム応募

LINE上の専用フォームから完了

当選発表はLINEメッセージの送信をもって代えさせていただきます（受取期限は当選通知を受けた日から14日以内）。

【応募条件】

応募期間内に上記3つのステップ（LINE友だち登録[既に登録済の方も対象]、ごみ収集日通知地区登録、応募フォームからの登録）をすべて完了し、かつ応募時点において「させぼeコイン」アプリのダウンロード・利用登録を完了している方が対象となります。

📞 お問い合わせ

【LINE全般・本キャンペーン】 DX推進課 0956-25-9623
【ごみ収集日通知機能】 廃棄物減量推進課 0956-32-2428

AIチャットボットはこちら

ごみの分別・出し方なども
質問できます！



V・ファーレン長崎観戦チケットプレゼントキャンペーン



V・ファーレン長崎の試合へ！プレミアムな観戦ペアチケットが当たる！

かんたん90秒で応募完了！今すぐ「佐世保市LINE公式アカウント」からエントリー！



©VVN

OFFICIAL PRESENT TICKET

PEACE STADIUMでの 公式戦 観戦ペアチケット

スタジアムの熱狂を、大切な人と一緒に現地で体感しよう！
日程：2026年12月5日 15：00 キックオフ

50組
(100名様)
に当たる！



©VVN

かんたん応募の3ステップ

STEP 1 佐世保市LINE公式アカウントを「友だち登録」 まずは登録 →

STEP 2 LINEの「応募フォーム」から応募

STEP 3 当選者にはLINEで「引換クーポン」を送信 試合当日に現地で引換
当選通知・チケット引換手順については、
当選者のみにご連絡いたします。（10月中旬以降を予定）

♥️ すでに「友だち」の方も対象です！メニューからすぐ応募可能！
※ 応募には佐世保市LINE公式アカウントの「友だち」登録が必須となります。

LINE 佐世保市LINE公式アカウントは便利機能満載！

- NEW** 10月からの主な新機能
「ごみ収集日のプッシュ通知機能」で
地区別の収集日を自動でお知らせ
- 🔔** 欲しい情報だけ選ぶ受信設定
「イベント情報」や「市からのお知らせ」など
欲しい情報のみの通知をセレクト
- 📄** その他の機能
その他機能の詳細は、
↓の二次元コードからチェック！



📱 スマホをかざすだけ！



スマホのカメラを
↑の二次元コードにかざして
かんたん友だち登録！

応募期間
令和8年10月1日（木）～ 10月15日（木）

対象者
佐世保市民の方（申告制）

当選発表
LINE公式アカウントより当選通知を送付
（10月中旬以降を予定）

お問い合わせ
DX推進課 0956-25-9623

渇水の状況と節水のお願い

●節水効果

- ・ 5. 0 %（減圧制限給水後）

●降雨状況

- ・ 9月26日～28日の降雨量

中部地域 159.0ミリ

南部地域 246.5ミリ

●渇水レベル

- ・ 中部水系 レベル4 ⇒ 3
 自主節水から注意喚起へ
 ダム貯水率 92.7 %
 （9月30日8時時点）
- ・ 南部水系 レベル5 継続
 （第一次減圧）制限給水継続
 ダム貯水率 73.2 %
 （9月30日8時時点）

区 分		渇水レベル	状 況
南 部		渇水レベル5	（第一次減圧）制限給水
中 部		※渇水レベル3	※注意喚起
北 部	鹿町地区（船ノ村簡水）	渇水レベル4	自主節水
	小佐々地区（田原水系）	渇水レベル3	注意喚起
	その他の地区（宇久地区を除く）	渇水レベル1	初期警戒

※変更箇所

「日米海軍連携のための英語研修」募集要項

1. プログラム名

English for Security Cooperation（安全保障協力のための英語研修）

～造船・船舶修理分野における実務英語コース～

2. 目的・背景

在福岡米国総領事館及び在日米国大使館は、在日米海軍艦船の修理・整備調整における言語の壁を解消することを目的とし、「英語による安全保障協力（English for Security Cooperation）」オンラインカリキュラムを開発しました。

本カリキュラムは、米国国防大学（National Defense University）所属の英語教育専門家（English Language Specialist）が、在福岡米国総領事館広報部及び在日米国大使館英語教育コーディネーターと協力して開発したものです。開発にあたっては、日本の造船関連企業、防衛省九州防衛局、佐世保米海軍基地関係者、佐世保市の行政職員を対象とした 60 件以上のアンケート調査及び聞き取り調査が実施しました。

この調査により、米海軍特有の専門用語への不慣れや、職場における意思疎通の慣習の違いなど、整備スケジュール調整・トラブルシューティング・修理連携を遅らせる実務上の課題が明らかになりました。

本コースは、オンライン形式での実践的な英語指導を通じて日米双方の米海軍艦船修繕に携わる担当者間の連携を強化し、整備遅延を削減し、インド太平洋地域における米海軍艦船の即応性維持に貢献することを目指します。

3. 対象者

造船・船舶修理業務に従事し、業務上英語を使用する必要がある方（例：造船会社関係者、米海軍艦船の整備・修理に関わる技術者・調整担当者等）

4. 受講時に期待される英語レベル・内容

英語レベル：目安 CEFR A2 以上

本オンラインカリキュラムでは特に造船・船舶修理分野に関する米海軍関連の専門用語、コミュニケーション実務を扱います。

5. 開催形式・期間

形式：オンライン（Zoom 等を予定）

期間：全 11 回（10 月 26 日から 1 月 29 日まで）オリエンテーション等含む

日程：

月曜日クラス 毎週月曜日 9：00 から 10：30

金曜日クラス 毎週金曜日 9：00 から 10：30

休講週：

2026 年 11 月 23 日~29 日（感謝祭）

2026 年 12 月 21 日~2027 年 1 月 3 日（クリスマスおよび新年休暇）

No.	月曜日コース	金曜日コース	内容
1	2026 年 10 月 26 日	2026 年 10 月 30 日	初回オリエンテーションおよびキックオフイベント、 モジュール 1 の準備。
2	2026 年 11 月 2 日	2026 年 11 月 6 日	モジュール 1 の復習、モジュール 2 の準備。
3	2026 年 11 月 9 日	2026 年 11 月 13 日	モジュール 2 の復習、モジュール 3 の準備。
4	2026 年 11 月 16 日	2026 年 11 月 20 日	モジュール 3 の復習、モジュール 4 の準備。
5	2026 年 11 月 30 日	2026 年 12 月 4 日	モジュール 4 の復習、モジュール 5 の準備。
6	2026 年 12 月 7 日	2026 年 12 月 11 日	モジュール 5 の復習、モジュール 6 の準備。
7	2026 年 12 月 14 日	2026 年 12 月 18 日	モジュール 6 の復習、モジュール 7 の準備。
8	2027 年 1 月 4 日	2027 年 1 月 8 日	モジュール 7 の復習、モジュール 8 の準備。
9	2027 年 1 月 11 日	2027 年 1 月 15 日	モジュール 8 の復習、モジュール 9 の準備。
10	2027 年 1 月 18 日	2027 年 1 月 22 日	モジュール 9 の復習、モジュール 10 の準備。
11	2027 年 1 月 25 日	2027 年 1 月 29 日	モジュール 10 および他の全モジュールの復習。 閉講式。

6. 講師
Dr. May Chung

7. 申込期間：
2026 年 9 月 28 日（月）から 2026 年 10 月 13 日（火）

8. 定員・推薦方法

企業推薦制：各企業につき、**最大 4 名まで**推薦可能です。（※推薦者の選定は各企業内でご調整いただき、業務上英語使用の必要性が高い方を優先的にご推薦ください。最大 4 名とします。但し、全体の応募者が多数の場合は 1 社からの受講者数を絞り込みさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。推薦された方全員の参加を約束するものではありません）

9. 参加条件

本研修へのご参加にあたっては、以下の条件をご確認・ご了承の上、お申し込みください。

1. **所属企業による業務時間の確保** 所属先の会社が、オンライン授業の時間を業務時間として確保できること。
2. **自主学習時間の確保** オンライン授業以外に、個人差はありますが週に **3 時間** 程度の自主学習が必要となります。受講者ご自身で学習時間を確保できること。
3. **Google Classroom** を使用するため、必ず **Gmail アカウント** が必要になります。

10. 参加費

無料

11. 申込方法

- 各企業の担当者を通じて、推薦者リスト（氏名・所属・役職・英語使用状況等）を以下のリンクより入力ください。

<https://forms.cloud.microsoft/q/bYBF1rQANi>

申し込み用 QR コード



皆様のご応募をお待ちしております！

英語力に自信がなくても構いません。上記レベルはあくまで目安です。業務で英語を使う機会がある方は、ぜひご応募をご検討ください。現場のニーズに基づいた実践的な内容です。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

お問い合わせ先

在福岡米国領事館広報部

FACRS@state.gov



U.S. Consulate Fukuoka